

2016年9月7日

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション

厚岸臨海実験所利用報告書（共同利用実習）

以下の活動内容について報告します。

受付番号：

活動（実習）名：森里海連環学実習II

活動期間：2016年8月31日～9月3日

1. 活動内容の概要

別寒辺牛川において採取した水生生物試料に関して、水生生物相の多様性や魚類の消化管内容物の解析により食物連鎖の概要を調べた。厚岸湖のアマモ場でも生物採集を行い、生物多様性と食物連鎖について解析した。河川水については、パックテストおよびイオンクロマトグラフィーによる水質分析実習を行った。また、厚岸湖および厚岸湾で採水された試料について、有色溶存有機物の光学特性に関する分析実習を行った。アイカップ自然史博物館を見学した後、実習の総まとめである発表会を同博物館にて実施した。

2. 活動のスケジュールおよび参加人数

8月31日：別寒辺牛川の水生生物の採取、講義、水質分析実習

9月1日：厚岸湾および厚岸湖の水質・水生生物調査、グループ発表準備

9月2日：愛冠自然史博物館見学、グループ発表、レポート作成、アンケート作成

9月3日：レポート提出、解散

この実習には、京都大学の1～3回生9名（受講生）と教員4名（京大フィールド研および農学研究科所属）、TA2名（京大農学研究科）が参加した。ただし、9月1日の実習に参加した教員数は3名である。この他、北海道大学からは、受講生10名、教員3名、TA1名、技術職員2名が参加した。

3. ご感想・ご要望

今年は、台風による降雨のため、別寒辺牛川の水かさが多く予定した試料採取がほとんどできませんでした。また、波浪が高く厚岸湾での調査も大幅に縮小せざるを得ませんでした。その中でも、貴実験所の教員・技術職員のみなさんにご協力いただいたおかげで、十分な実習ができたことと喜んでおります。また、初日の昼食弁当を急遽実験所食堂で取らせていただくことになりましたが、快く受け入れていただき、温かいお味噌汁までご用意いただきありがとうございました。来年度もまたお世話になるとは思いますが、よろしく願いいたします。

氏名： 吉岡 崇仁

所属： 京都大学フィールド科学教育研究センター

職名： センター長・教授

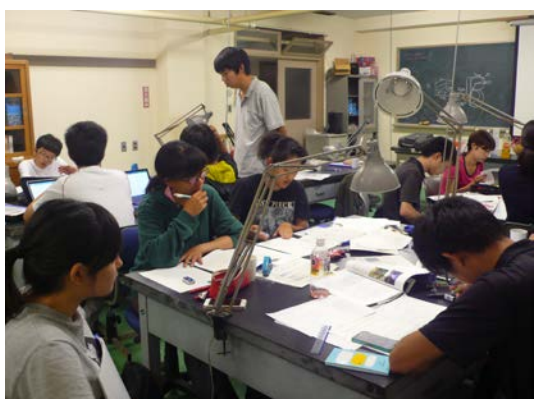
活動の様子



厚岸湖における生物試料の採取



イオンクロマトグラフィーによる水質分析



TA 指導の下でのレポートの作成



グループ発表で使用する OPH 資料の作成



愛冠自然史博物館でのグループ発表



愛冠岬にて集合写真